

様式第6号

「実務経歴書の実務内容コード表」を参照して、該当番号を記入

建築実務に携わった期間を記入

他の業務に付随して建築業務を行った場合には、全体の期間に占める建築実務を行った期間の割合(%)を記入し、実務期間を算定

実務経歴書（資格要件を実務経験による場合）

勤務先（部課名まで）等 所在地（番地まで） 電話番号（現勤務先以外はすべて）	実務内容コード	地位 職名	在職期間		建築実務の内容 （できるだけ具体的に記入して下さい。）	建築実務の割合 （b）	実務期間 （a×b）	
			年月～年月	期間(a)			年	か月
1 勤務先名 〇〇〇設計事務所 所在地 鳥取市西町〇丁目〇番地 電話番号	1	所員	H 22・4	H 24・3	2 0	0	50	1 0
	1	チーフ	H 24・4	H 24・12	0 9	0	100	0 9
			.	.				
			.	.				
2 勤務先名 〇〇建設 所在地 鳥取市東町〇丁目〇番地 電話番号 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	4	係長	H 25・6	H 26・12	1 7	7	50	0 8
	7	係長	H 27・1	H 28・6	1 5	5	100	1 5
			.	.				
			.	.				
3 勤務先名 所在地 電話番号			.	.				
			.	.				
			.	.				
			.	.				
実務期間の合計(上記1～3の実務期間の合計を右欄に記入して下さい。)							3	10

携わった実務の内容（工事名、物件名、物件数、職務内容等を具体的に）記入
注)単なる労務や、「建築一式工事」「大工工事」「建築設備の設置工事」に該当しない工事の施工監理は、建築実務に含まれないので、必ずその割合を除外する。